

「石川自由民権物語」企画書

1 事業名

「石川自由民権物語」 ―石川・三春 河野広中没後100年記念連携事業―

2 事業の趣旨

◆河野広中概略

河野広中は、嘉永2年(1849)三春藩郷土の子として産まれる。明治7年1月(25歳)に磐前県石川会所区長に任命される。11年1月19日には、福島県民事係に任命され石川を去るが、2月11日に石陽社社長に選挙される。8月には、立志社、愛国社と親密の交通を締結。13年国会開設請願。14年自由党結成参加。4月に福島県会議長となり、5月の福島県会議で議案毎号否決。11月福島・喜多方事件勃発。23年第1回選挙で衆議院議員となり、連続14回当選。36年衆議院議長を務め、大正4年には、農商務大臣を務める。大正12年(1923)12月死去。

2022年(令和4年)には、河野広中没後100年となり、三春・石川の両町で記念事業を実施する。本事業は、石陽社顕彰会が福島県、石川町の支援を得て、石川・三春両町が行う「河野広中没100年記念事業」に呼応する形で、「石川自由民権運動物語」として以下の事業を行うものである。

●両貴社[石陽社(石川)三師社(三春)]ハ東北ヨリ勉メヨ
我ガ社(立志社)ハ則チ西南ヨリカメン
(立志社から河野広中への文書：明治12年)

◆事業内容

- ① 石川地方の自由民権運動のホームページを制作し全国と繋ぐ。また、自由民権資料のデータベース化を行い自由民権研究に資する。
- ② 自由民権運動をわかりやすく、親しみやすいものとするため、石川地方の自由民権運動の「講談」化、民権家のキャラクター制作を行う。また、高校生とのコラボでキャラクターの利活用を進める。
- ③ 本事業を石川・三春河野広中没後100年記念連携事業として令和3年度から5年度までの3カ年で実施したい。

3 実施団体： 石陽社顕彰会 [協力：三春地方自由民権運動血縁の会、石陽史学会]

4 実施時期 令和3年7月～令和6年1月(3カ年)

5 事業内容

(1) 石川地方自由民権運動ホームページの開設 [令和3年度]

- ①石川地方の自由民権運動紹介
- ②石川地方の民権家及び自由民権史跡紹介
- ③石川地方自由民権資料のデータベース化
- ④全国自由民権運動関係団体ホームページとのリンク

(2) 石川地方の自由民権運動の「講談」化事業 [令和4年度]

*演劇「天福の島」脚本（大野沙亜耶氏）の講談化準備

*講談「石川自由民権物語」（仮称）の制作と発表 [講談師：神田香織 予定]

(3) 民権家のキャラクター化 [令和3年度]

*石川町出身漫画家（竹内七生氏）による民権家のキャラクター制作

◆民権家キャラクター6人

民権家：河野広中、吉田光一、鈴木重謙、関根常吉、河野広体 支援者：近内ハナ

*民権家キャラクタータペストリー制作[6人]

*キャラクターポスター・チラシ作成 [キャラクターを公開]

(4) 自由民権グッズの商品化事業

*高校生漫画講座[3回]（令和3年度）

*民権キャラクターの商品化検討(高校生とコラボ（令和4年度）

・民権絵はがき、紙漉き民権はがき、クリアファイルなどの検討

(5) 自由民権夏期講座（令和5年度）

*夏休み中に大学教授など専門家を招聘し、対象を高校生及び石川・三春の一般人とし開催

*民権史跡現地学習と座学4講座を開催し、自由民権運動の質的理解を高める

6 事業スケジュール

令和3年

7月 事業計画、役割分担等の確認

演劇「天福の島」脚本（大野沙亜耶氏）の使用契約

8月 ホームページ開設委託、民権家キャラクター制作委託

令和4年

1月 ホームページ開設

高校生漫画講座[3回]

2月 民権キャラクター完成、タペストリー完成、発表会

5月 演劇「天福の島」脚本家と講談師打合せ[オンライン]

7月 講談公演実行委員会

8月 講談開催ポスター、チケット印刷

9月 チケット販売

11月 講談「石川自由民権物語」公演

12月 河野広中没後100年記念事業（三春町・石川町）

令和5年

7月～8月 自由民権夏期講座（5回）